

プレスセミナー（2020年7月2日開催）資料から抜粋

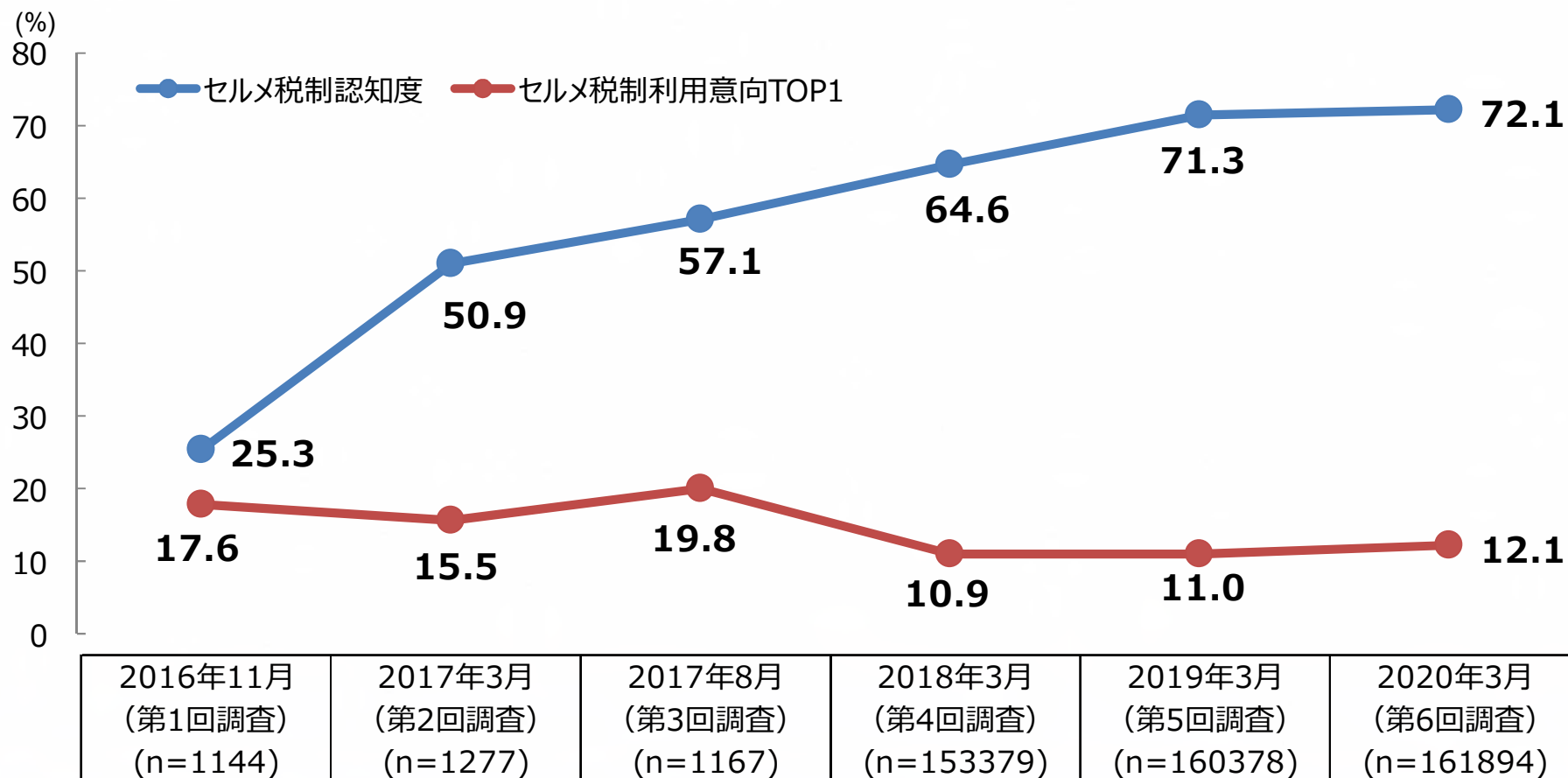
セルフメディケーション税制 16万人調査の結果



生活者16万人調査

調査対象	- 男女20歳～69歳 2019年（令和元年）の確定申告状況、税制対象品購入金額、セルメ税制利用意向などによって抽出
地域・手法	全国・インターネット調査・一次調査はウェイトバック集計により全国の性別、年齢構成に合わせて補正
抽出フレーム	インターネットリサーチモニター（学生を除く）
回収数	■一次調査：n=161,894 ■二次調査：n=496 (1)セルメ税制利用群：n=66 ・2019年分について本人または家族が確定申告し、セルメ税制で控除を受けた ・税制対象品年間購入金額12,000円超 ・OTC購入時のレシート、健康診断の結果通知表を保管 (2)セルメ税制利用予備群：n=430 ・2019年分について本人確定申告（医療費控除・セルメ税制なし） ・税制利用意向TOP1・OTC年間購入金額5,000円以上
調査項目数	■一次調査：15問 ■二次調査：60問
実施日	■一次調査：2020/3/13（金）～3/17（火） ■二次調査：2020/3/20（金）～3/23（月）
調査実施機関	株式会社インテージヘルスケア

認知が拡大しても利用拡大につながらないことは既知
今回の調査では認知度も頭打ちとなった



認知度は全世代で横ばい 20代は男女ともに微減

	2016年11月 (第1回調査)	2017年3月 (第2回調査)	2017年8月 (第3回調査)	2018年3月 (第4回調査)	2019年3月 (第5回調査)	2020年3月 (第6回調査)	差 今回－前回
TOTAL	25.3	50.9	57.1	64.6	71.3	72.1	0.8
男性計	24.6	46.1	53.9	61.2	69.0	69.5	0.5
女性計	26.0	55.8	60.2	67.9	73.4	74.8	1.4
男性20代	21.7	33.0	45.2	50.4	56.9	54.8	-2.1
男性30代	21.3	50.4	58.8	59.9	67.3	66.4	-0.9
男性40代	27.7	47.6	52.5	59.7	68.4	70.3	1.9
男性50代	22.4	46.9	53.5	62.5	70.7	73.1	2.4
男性60代	29.4	50.4	59.5	70.7	79.1	79.3	0.2
女性20代	16.9	32.3	42.0	53.2	58.1	57.2	-0.9
女性30代	15.7	57.0	60.5	66.2	71.2	73.3	2.1
女性40代	24.0	68.7	65.1	69.3	74.8	77.4	2.6
女性50代	33.4	60.4	65.0	72.2	78.1	80.2	2.1
女性60代	41.2	62.2	66.4	73.5	80.4	80.3	-0.1

認知度：

第1回～第3回調査：「詳しく知っている」「名前は聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」「名前は聞いたことがあるが、内容はまったく知らない」の合計。

第4回調査以降：「よく理解している」「ほぼ理解している」「聞いたことはあるが、あまり理解していない」「聞いたことはあるが、理解していない」の合計。

理解度は全世代で概ね向上 60代は男女ともに37%超

	2016年11月 (第1回調査)	2017年3月 (第2回調査)	2017年8月 (第3回調査)	2018年3月 (第4回調査)	2019年3月 (第5回調査)	2020年3月 (第6回調査)	差 今回－前回
TOTAL	3.0	8.0	9.2	20.6	24.8	27.6	2.8
男性計	4.2	7.6	8.8	19.6	24.6	26.5	1.9
女性計	1.8	8.4	9.5	21.7	24.9	28.6	3.7
男性20代	4.7	8.0	10.4	16.2	16.8	16.8	0.0
男性30代	3.3	8.9	6.7	18.8	22.7	23.3	0.6
男性40代	6.3	7.0	5.9	17.6	22.5	24.6	2.1
男性50代	4.7	4.8	5.2	19.0	25.2	28.5	3.3
男性60代	2.4	9.0	15.7	25.6	34.3	37.5	3.2
女性20代	1.7	4.7	6.5	13.1	14.5	15.4	0.9
女性30代	0.0	8.5	5.5	19.3	20.2	23.3	3.1
女性40代	0.0	11.6	7.9	21.5	24.3	28.5	4.2
女性50代	1.9	11.5	13.2	25.1	29.0	33.9	4.9
女性60代	5.5	5.9	13.9	26.2	32.9	37.0	4.1

理解度：

第1回～第3回調査：「詳しく知っている」の値。

第4回調査以降：「よく理解している」「ほぼ理解している」の合計。

利用意向は全世代で低位

	2016年11月 (第1回調査)	2017年3月 (第2回調査)	2017年8月 (第3回調査)	2018年3月 (第4回調査)	2019年3月 (第5回調査)	2020年3月 (第6回調査)	差 今回－前回
TOTAL	17.6	15.5	19.8	10.9	11.0	12.1	1.1
男性計	17.1	14.3	19.5	10.4	10.6	11.6	1.0
女性計	18.0	16.7	20.1	11.3	11.4	12.5	1.1
男性20代	10.4	11.6	14.8	10.3	11.6	12.0	0.4
男性30代	19.7	17.1	26.1	11.8	11.5	12.3	0.8
男性40代	14.3	13.3	18.6	10.4	10.8	11.8	1.0
男性50代	15.0	12.7	15.5	10.1	10.2	12.0	1.8
男性60代	24.6	16.6	22.3	9.7	9.3	10.1	0.8
女性20代	14.4	13.4	16.8	11.5	11.9	14.1	2.2
女性30代	27.8	16.2	25.7	12.4	13.0	13.9	0.9
女性40代	12.4	23.1	19.8	11.4	11.8	12.8	1.0
女性50代	17.6	13.0	16.7	11.5	11.1	11.8	0.7
女性60代	18.3	18.5	21.3	10.0	9.6	10.6	1.0

利用意向：「利用したい」「まあ利用したい」「どちらともいえない」「あまり利用したくない」「利用したくない」の5段階のうち、「利用したい」の値。

2021年までの時限制度であることは、6割が非認知

(%)	人数	認知度	理解度	利用意向	時限制度の 非認知
TOTAL	161,894	72.1	27.6	12.1	59.5
男性	81,283	69.5	26.5	11.6	56.4
女性	80,611	74.8	28.6	12.5	62.6
男性20代	12,958	54.8	16.8	12.0	63.4
男性30代	15,104	66.4	23.3	12.3	57.4
男性40代	19,588	70.3	24.6	11.8	56.6
男性50代	17,059	73.1	28.5	12.0	55.0
男性60代	16,574	79.3	37.5	10.1	51.3
女性20代	12,382	57.2	15.4	14.1	67.5
女性30代	14,691	73.3	23.3	13.9	64.3
女性40代	19,153	77.4	28.5	12.8	62.5
女性50代	17,012	80.2	33.9	11.8	61.4
女性60代	17,373	80.3	37.0	10.6	59.2

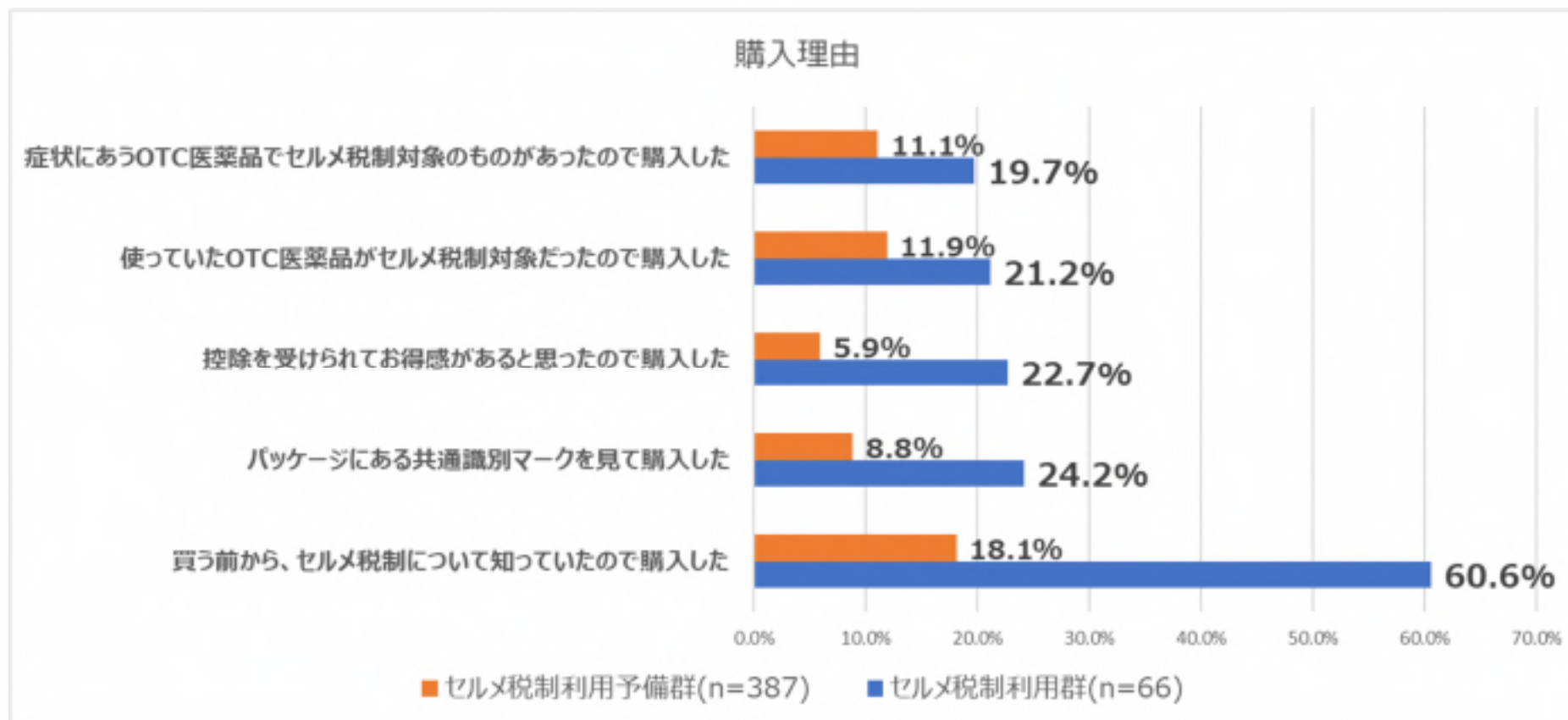
利用したいと思わせてくれる拡充策は 対象品目の拡大

注) 16万人のうちセルフメディケーション税制を「利用したい」と
答えた人について集計

	(%)	全OTC に拡大	申告手続 簡素化	下限 撤廃	利用したい と思わない
最も、利用したいと思わせてくれる拡充策	n=19,524	55.0	20.8	11.8	12.3
2番目に、利用したいと思わせてくれる拡充策	n=19,524	20.5	40.8	24.4	14.3
3番目に、利用したいと思わせてくれる拡充策	n=19,524	11.1	23.7	48.2	16.9

理想の還付金額は
税制利用予備群では「5000円くらい」が28.8%で最多

セルメ税制利用群の6割が 「買う前からセルメ税制について知っていたので購入」



認知、理解が進むにつれて、 健康意識と行動は向上

(%)	TOTAL	セルメ税制 利用群	セルメ税制 理解層	セルメ税制 非認知層
健康意識・行動	n=161,894	n=76	n=44,584	n=45,131
軽い症状であればOTC 医薬品で対処する	 22.7	 66.9	 28.0	 15.6
インフルエンザ予防接種 を受けた	 26.2	 56.8	 32.5	 19.1
自分の体調変化を気に かけている	 26.6	 45.3	 33.4	 19.0
医療財政が破綻しない か不安である	 9.5	 38.2	 13.8	 5.3

利用群、利用予備群の医療費、OTC購入は減少傾向

①セルメ税制利用群			医療費（受診・薬代）		OTC購入金額	
②セルメ税制利用予備群			増加－減少	変わらない	増加－減少	変わらない
軽い風邪の症状	①群	n=54	 -22.2	 16.7	 -11.1	 42.6
	②群	n=341	 -22.9	 15.8	 -22.0	 36.7
重い風邪の症状	①群	n=29	 -3.5	 31.0	 -6.9	 17.2
	②群	n=190	 -12.6	 27.9	 -29.0	 22.6
軽いアレルギー	①群	n=53	 -16.9	 13.2	 -11.4	 43.4
	②群	n=279	 -14.7	 17.6	 -22.2	 28.0
重いアレルギー	①群	n=30	 0.0	 10.0	 -10.0	 30.0
	②群	n=157	 -12.1	 25.5	 -17.2	 29.9

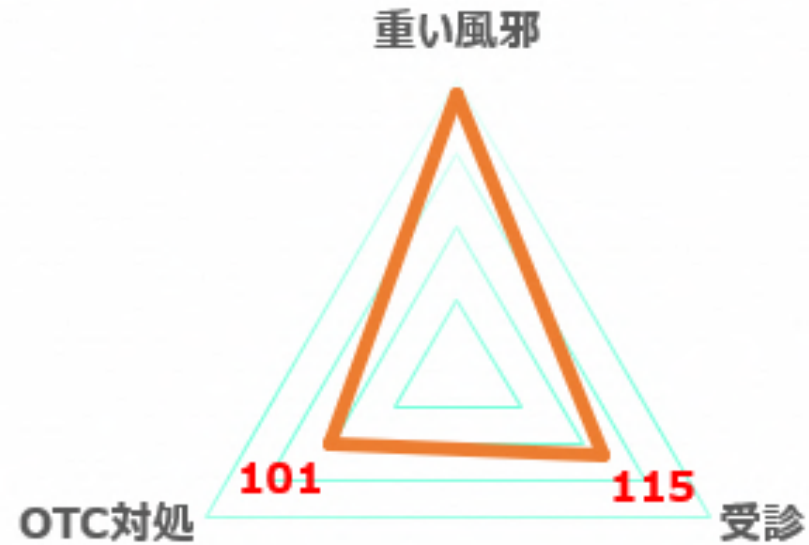
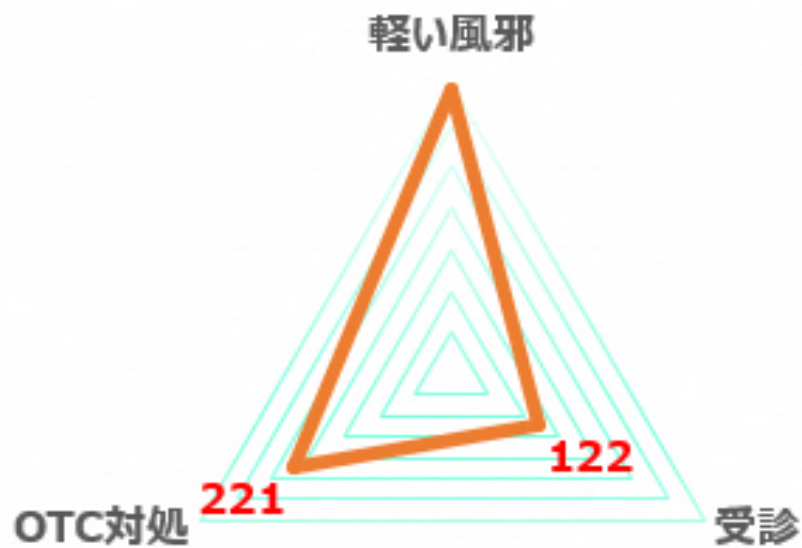
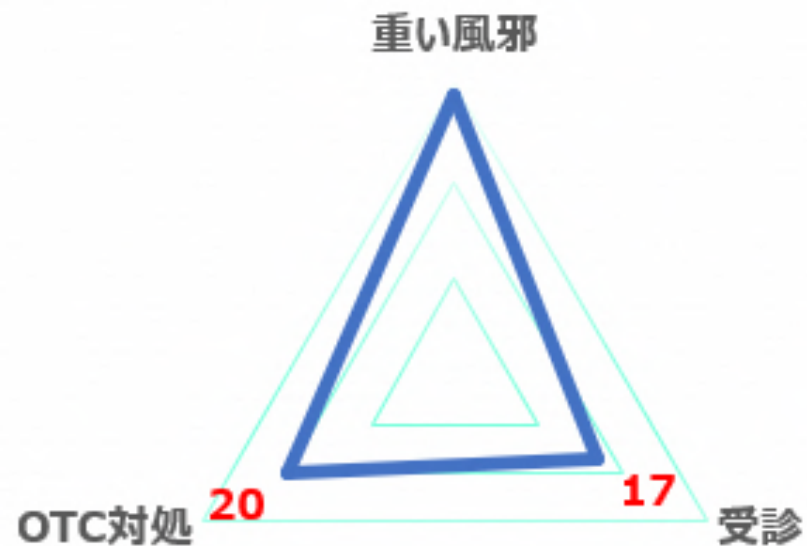
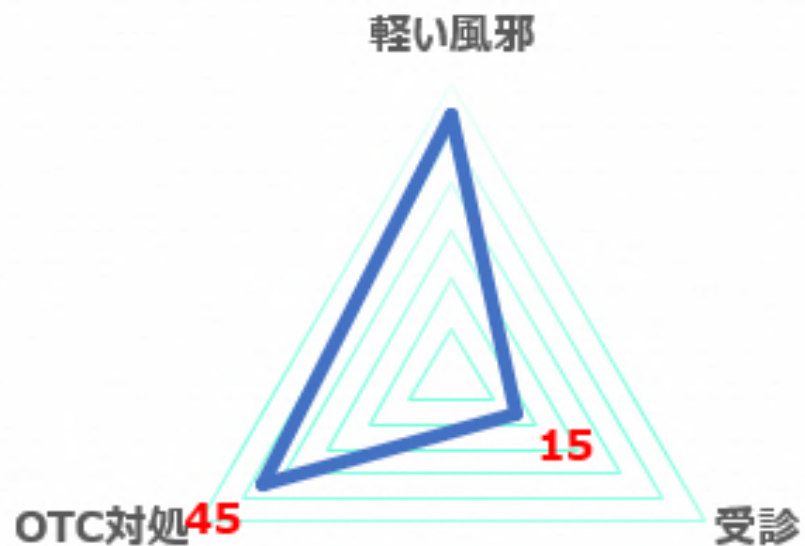
増加－減少：増減差（pt）、2019年は2018年より増えたという回答の比率－減ったという回答の比率

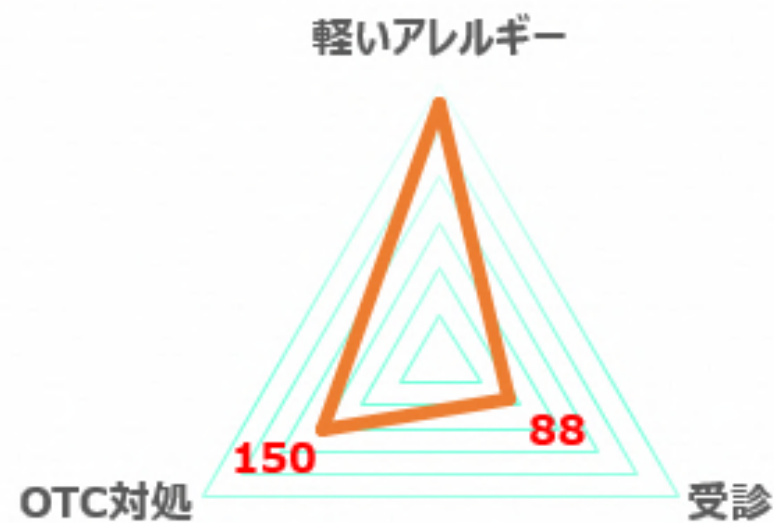
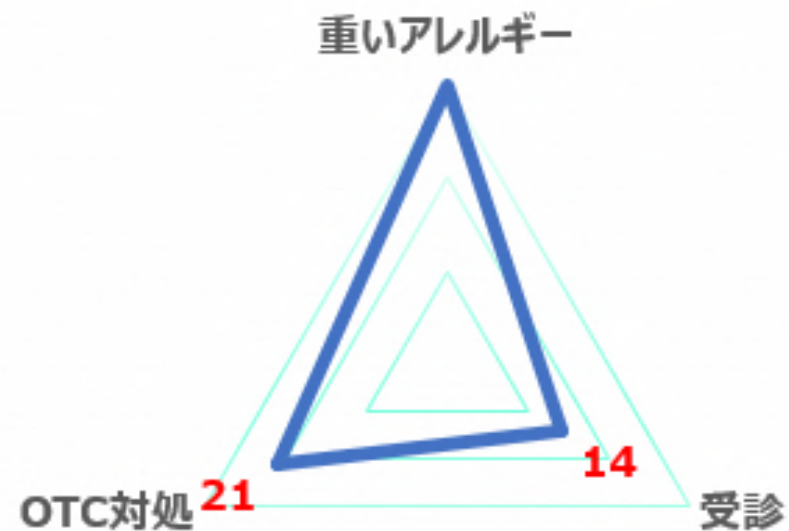
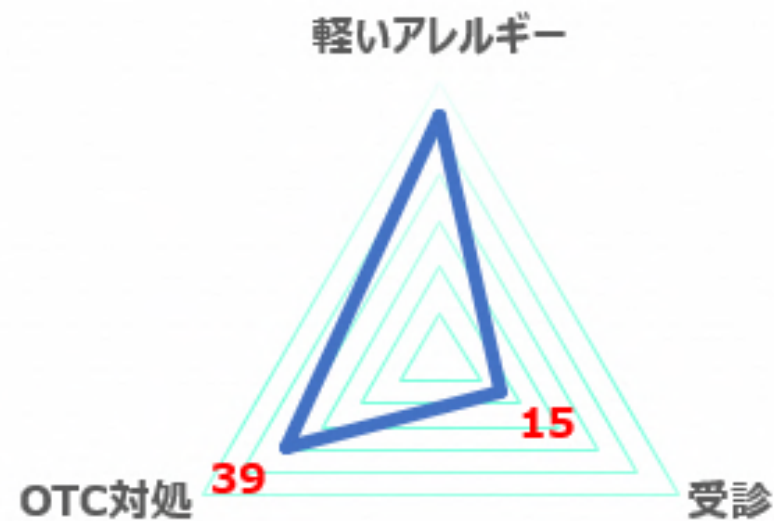
変わらない：2019年は2018年と変わらないという回答の比率

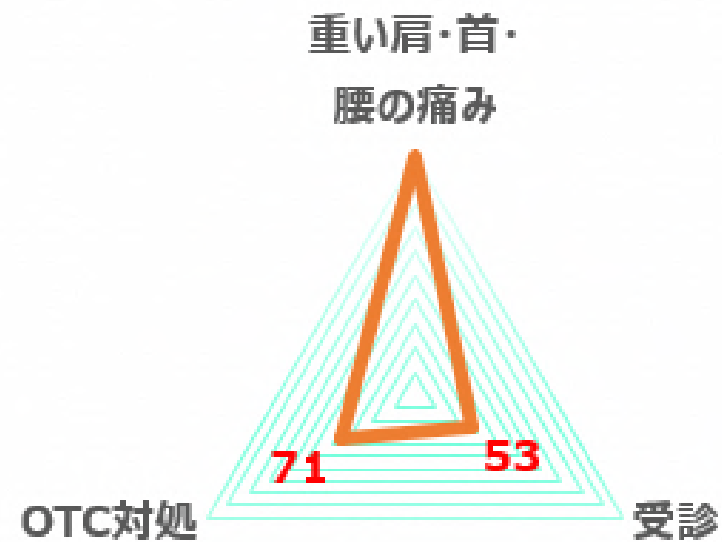
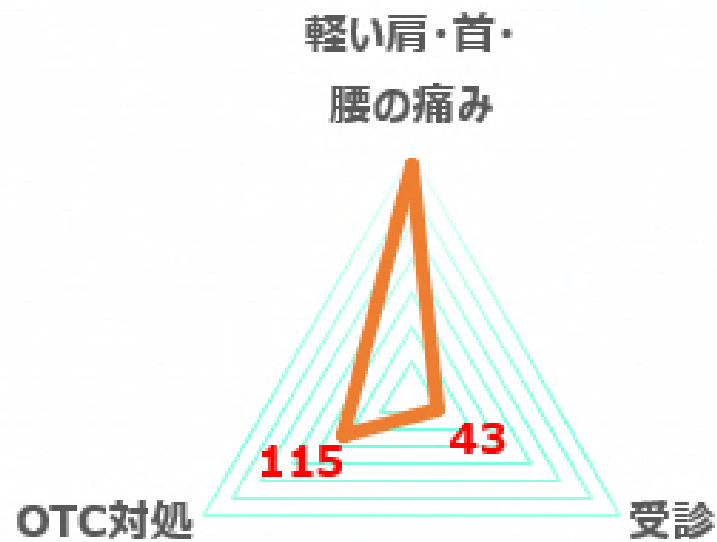
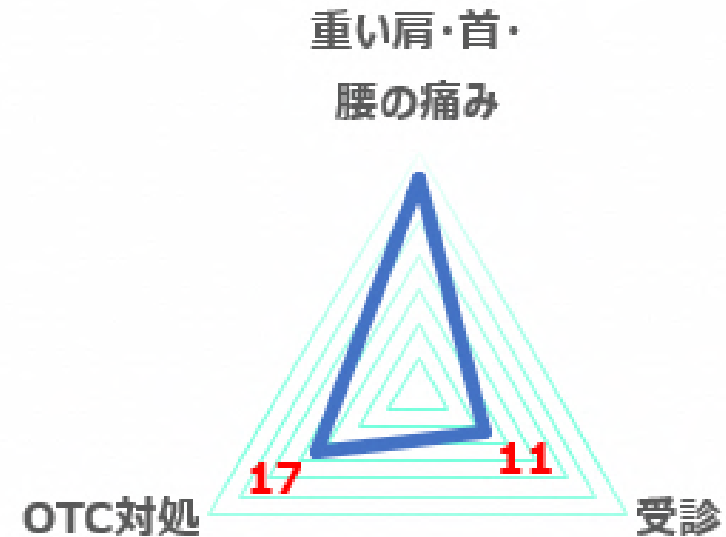
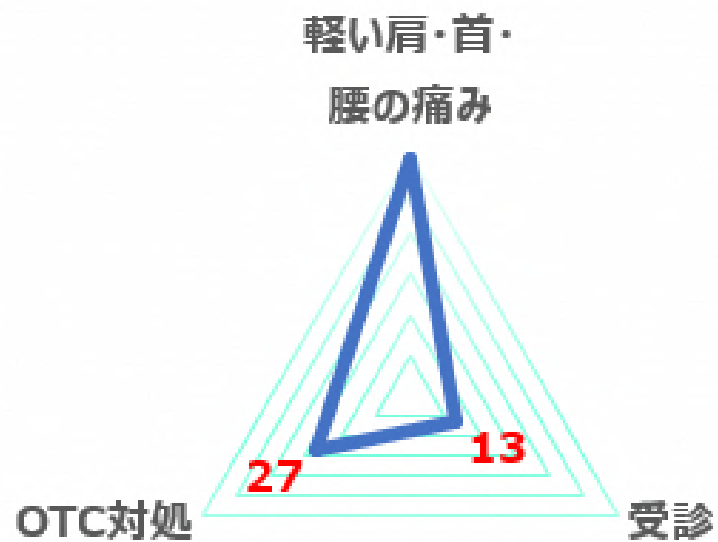
現況

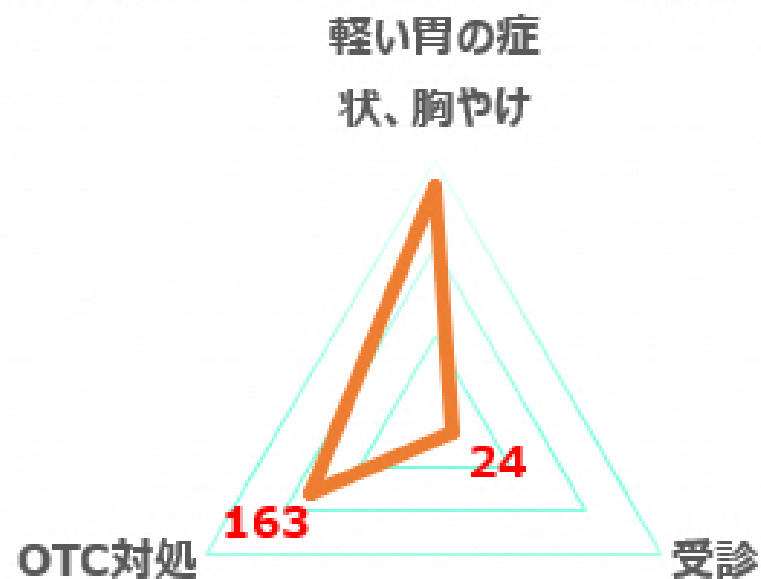
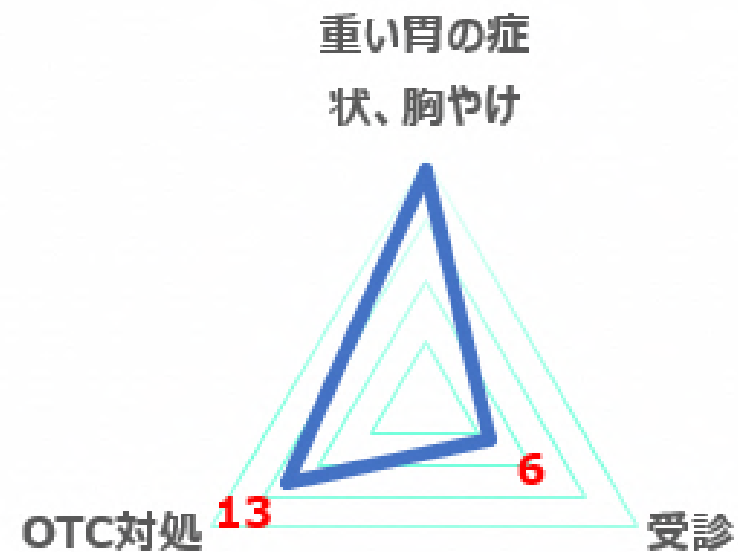
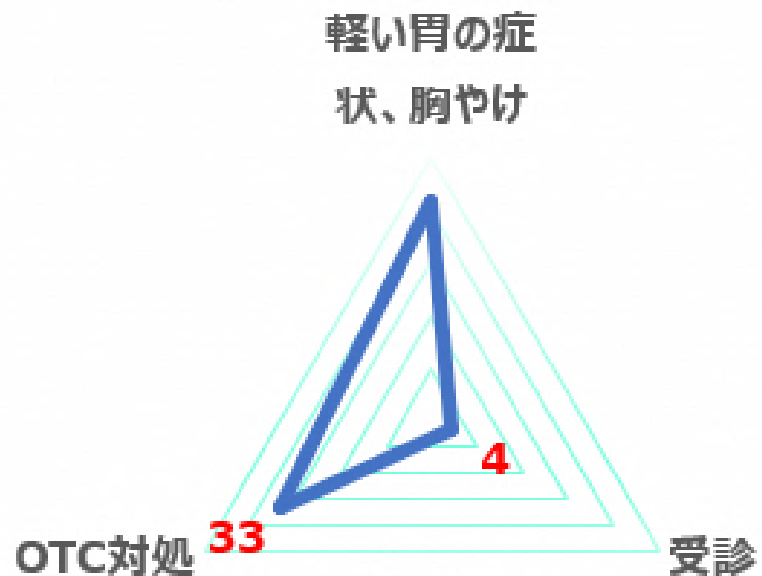
	n=66	n=430
単位：人	利用群	利用予備群
軽い風邪 罹患	54	341
受診	15	122
OTC対処	45	221
単位：人	利用群	利用予備群
軽いアレルギー 罹患	53	279
受診	15	88
OTC対処	39	150
単位：人	利用群	利用予備群
軽い肩・首・腰の痛み 罹患	59	336
受診	13	43
OTC対処	27	115
単位：人	利用群	利用予備群
軽い胃の症状、胸やけ 罹患	42	272
受診	4	24
OTC対処	33	163
単位：人	利用群	利用予備群
軽い頭痛、生理痛 罹患	51	275
受診	3	18
OTC対処	43	186

	n=66	n=430
単位：人	利用群	利用予備群
重い風邪 罹患	29	190
受診	17	115
OTC対処	20	101
単位：人	利用群	利用予備群
重いアレルギー 罹患	30	157
受診	14	67
OTC対処	21	78
単位：人	利用群	利用予備群
重い肩・首・腰の痛み 罹患	31	200
受診	11	53
OTC対処	17	71
単位：人	利用群	利用予備群
重い胃の症状、胸やけ 罹患	19	129
受診	6	28
OTC対処	13	71
単位：人	利用群	利用予備群
重い頭痛、生理痛 罹患	26	156
受診	8	22
OTC対処	22	107

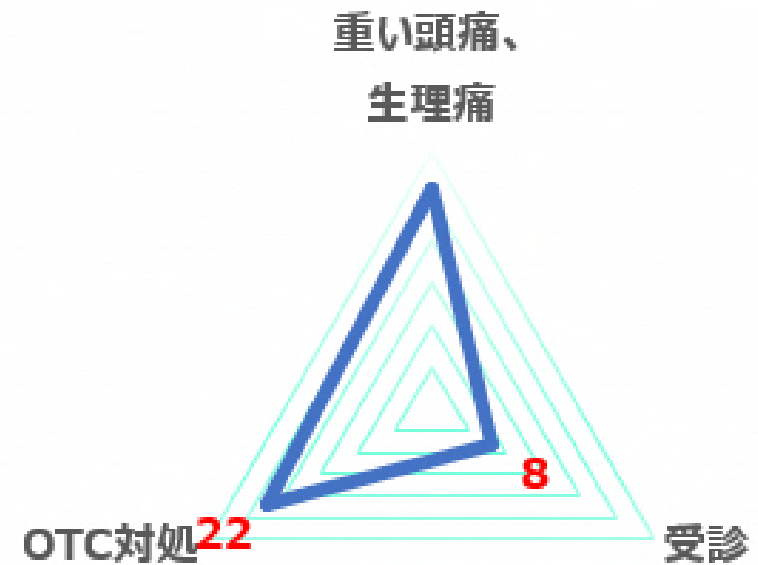
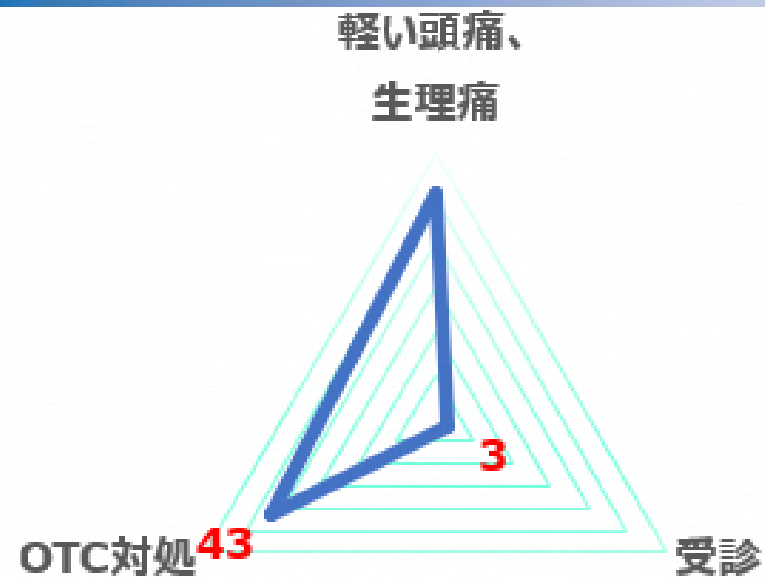


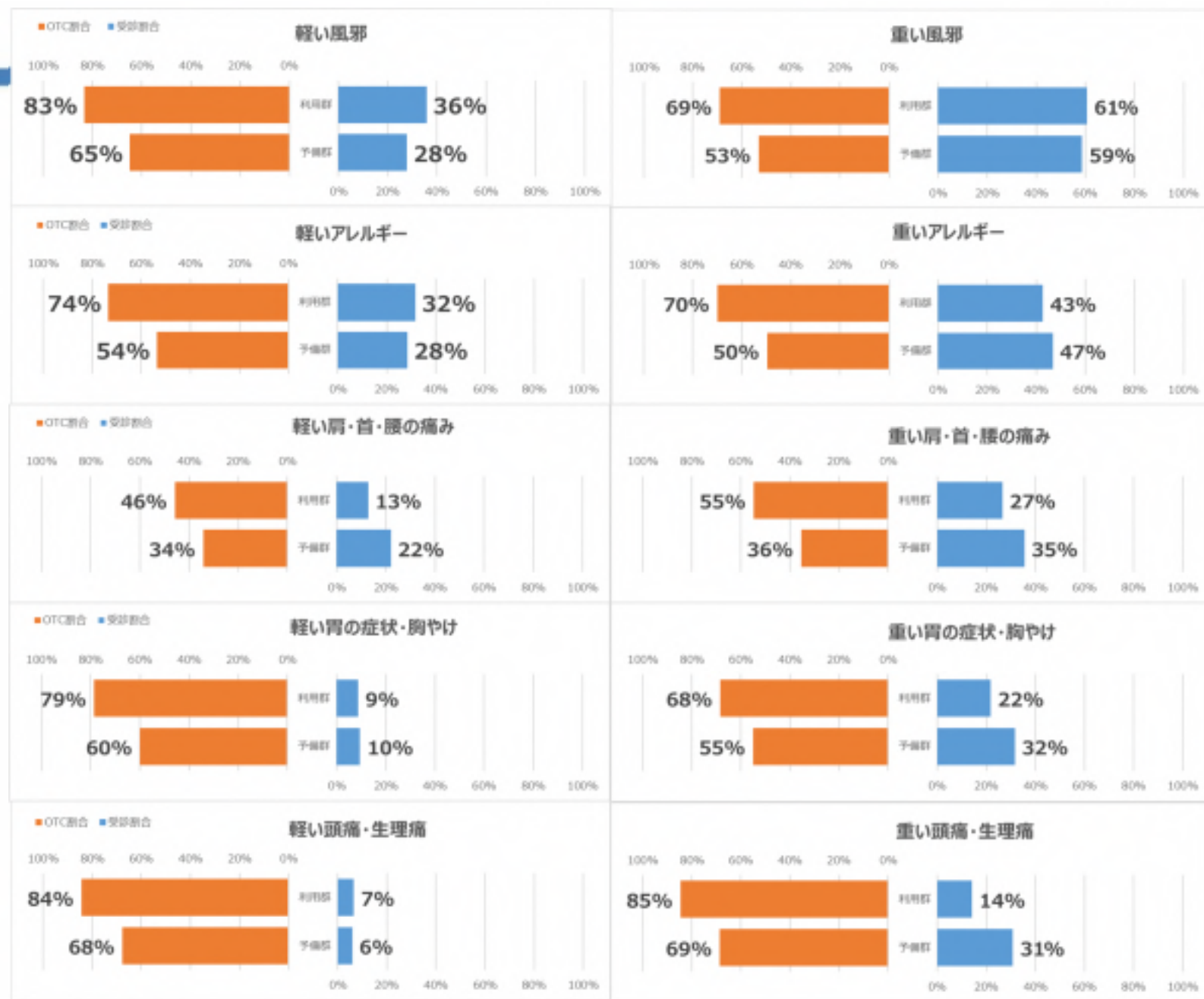




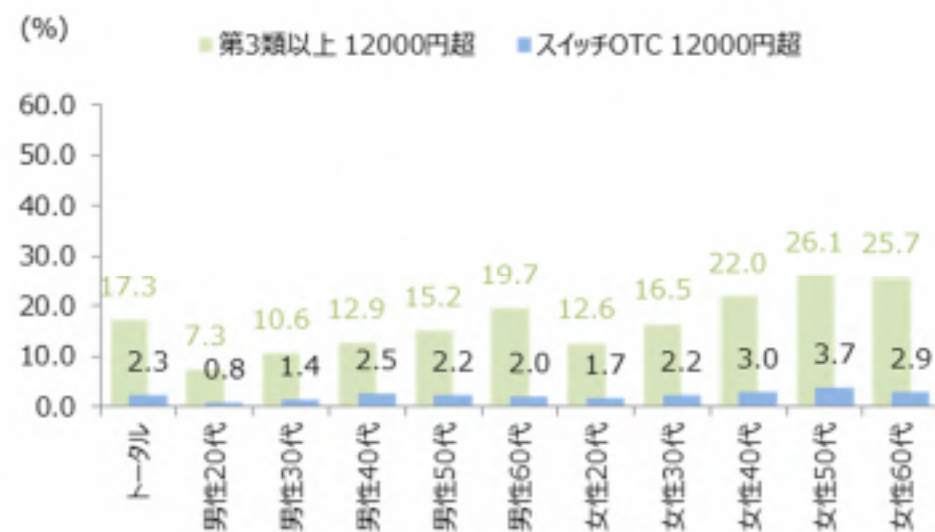
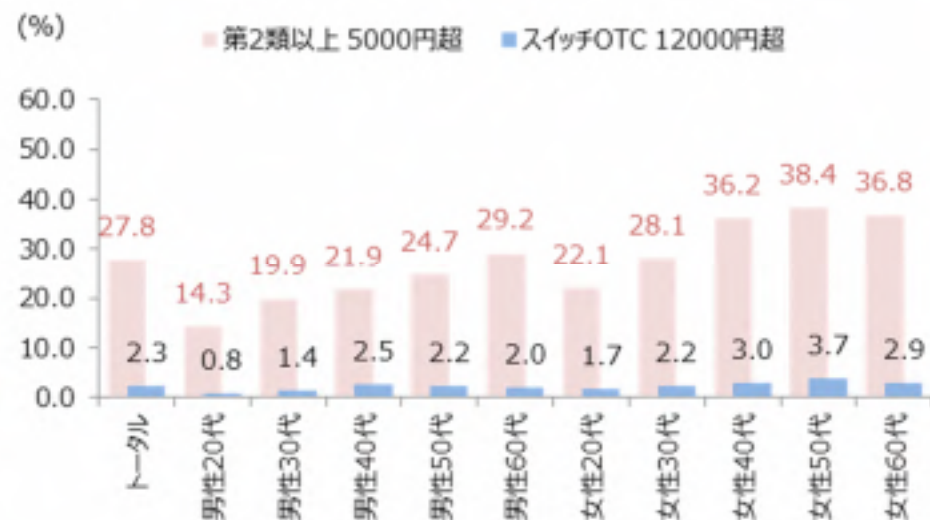


現況

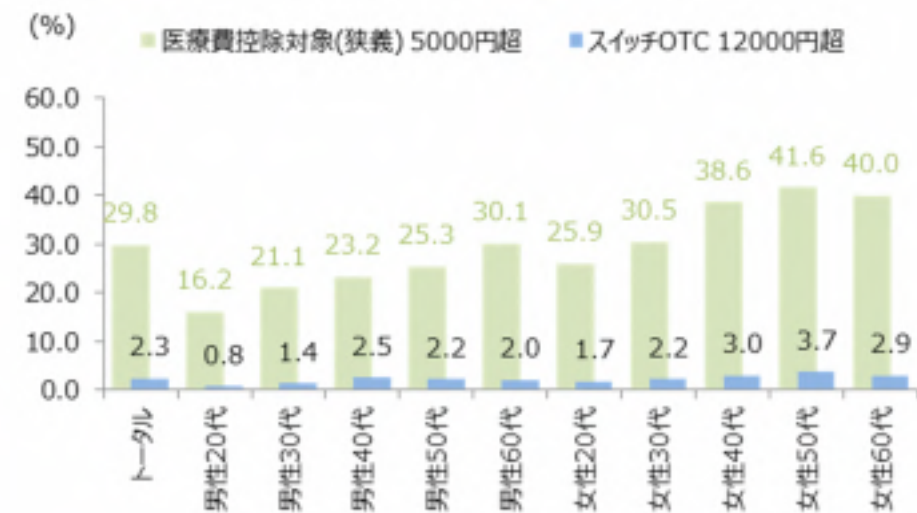
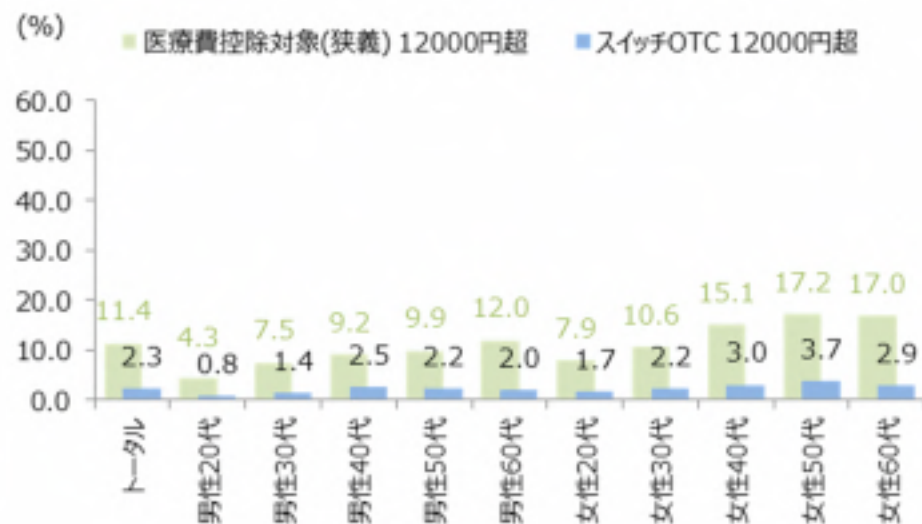
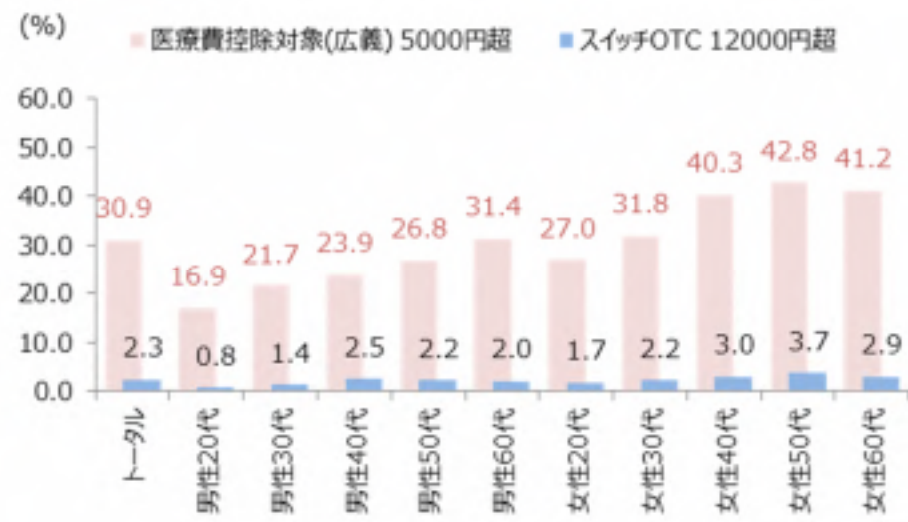




範囲拡大の検討



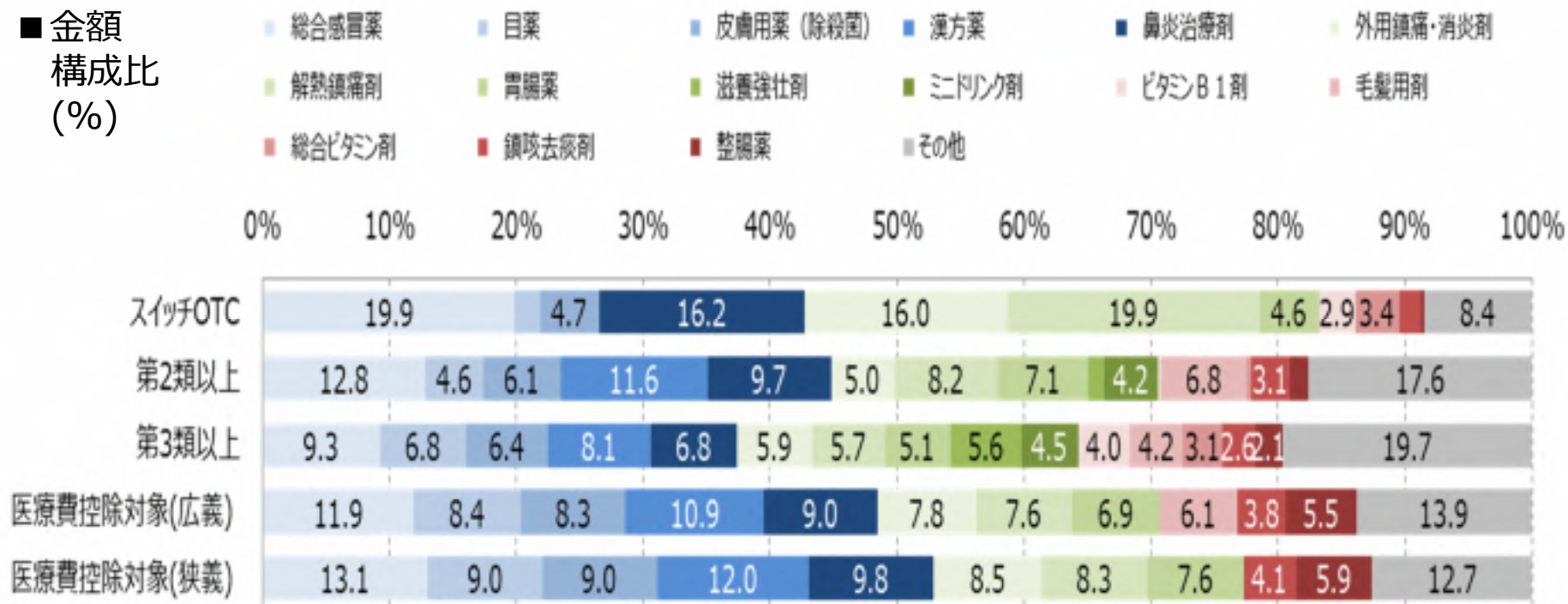
範囲拡大の検討



注) 広義 = 狭義 + ビタミンE剤 + 女性保健薬 + 鎮痛薬 + 毛髪用剤

1万2千円超購入者の薬効（上位15薬効）構成比

■ 金額
構成比
(%)



拡充により減税規模は13億円に、
利用者は24万人に増加

	利用推計人数 (万人)	減税規模 (億円)
現状(スイッチOTC医薬品が対象)	3	1
医療費控除と同じ治療薬に拡大	15	6
全OTC医薬品（3類以上）に拡大	19	8
全OTC医薬品に拡大して、下限をゼロに	24	13

医療費控除の対象となる治療薬には明確な定義がないため、インテージSDIの42薬効のうち22薬効を指定して推計。
令和元年分の利用者数は4月末時点で3万人。（国税庁6月26日発表）

1. セルメ税制の現状

- ・2020年3月時点のセルメ税制の認知度は72.1%で前回と比べてほぼ横ばいの状況。
- ・利用意向TOP1もほぼ横ばいの状況で12.1%にとどまる。
- ・セルメ税制利用者構成比は、確定申告者ベースで0.10%（昨年は0.12%）。
- 令和元年分の申告者は2万人程度と推計され、今後の税制の利用拡大は見込みにくい状況にある。
- ・セルメ税制利用群は、「男性30代・40代」と「女性40代・50代」が中心、所得は「330万円超～695万円」。
- ・セルメ税制利用予備群は、「男性40代・50代」が中心で、所得は「330万円超～695万円」。

2. セルメ税制の課題と改正案による利用拡大ボリューム

- ・セルメ税制を利用する上でのニーズとしては、「申告対象となる品目を全OTCに拡大」が最も高い。
- ・セルメ税制利用群においては、「下限額の撤廃」を求める意見も多い。
- ・申告対象品目を全OTCに拡大し、下限を撤廃した場合（※年間1万2千円超の購入を申告条件とする）、税制利用予備群からの利用拡大によって、セルメ税制利用人数は24万人、減税規模13億円にまで拡大すると推計。

3. 健康意識と行動変容、医療費への影響

- ・セルメ税制利用群、セルメ税制利用予備群ともに、2019年は2018年に比べて医療費とOTC購入金額の双方が低下する傾向にあった。
- ・風邪、アレルギーの場合で、病院受診、OTC対処の状況を評価したところ、セルメ税制利用群では、症状の重症度に応じてOTC購入か受診かを選択しており、セルフメディケーションの適切な実践が示唆された。胃の症状や頭痛・生理痛ではOTC対処の比率が特に高いことが確認できた。
- ・セルメ税制が行動変容を促し、セルフメディケーションの実践により、医療費が削減されることが示唆される。